

重症外傷の治療を受けられる患者さん及びそのご家族の方へ

当院では、より良い治療を行うための調査研究
「大動脈閉塞カテーテルの使用に関する有用性の調査」
を実施しています。

大動脈閉塞カテーテルでの一時的止血の効果・予後を明らかにし
より良い治療法の選択に役立てることを目的として、当施設単独で研究しております。

これまでの診療記録を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。

この調査では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、外傷の重症度・手術の名称・放射線画像の所見・検査の結果・どれくらい入院したのかなどの記録を集計させていただきます。

調査の対象は、当院で重症外傷で大動脈閉塞カテーテルを受けた方の一部の方です。

2008年4月1日から2020年3月31日のあいだに、当院で重症外傷診療を受けた方を対象としています。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

収集された資料は、個人を特定できないように処理して、当院救急科所属 松本 松圭のところに集められて解析されます。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

ご不明な点がありましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

もし結果が知りたい方はいつでもご連絡ください。

研究終了後、収集試料は個人を特定できない形にして保管され、他の研究等に利用される場合があります。その場合は改めて倫理審査を受けます。

この調査にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。

その場合は、2020年3月31日までに、当院救急科 松本 松圭にお申し出ください。

連絡先：済生会横浜市東部病院 救急科 松本 松圭(研究代表者)

電話 045-576-3000

内線 (PHS) 9294

住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1